

学校研究 各学科・教科の実践授業 一覧

2018/12/18

育成する力	創造力													コミュニケーション力				思考力
教科・学科	国語	地歴・公民	数学	理科	保健体育	外国語	家庭	機械システム	電気	電子情報	材料化学	工芸	デザイン	電気	電子情報	工芸	デザイン	テキスタイル工学
月日	未定	11月3日	未定	11月20日	9月28日	10月17日	10月31日	10月29日	11月20日	11月20日	11月4日	9月25日	9月21日	11月20日	11月20日	9月25日	9月21日	6月18日
曜日	未定	土	未定	火	金	水	水	月	火	火	水	火	金	火	火	火	金	月
限	未定	2限	未定	5限	6限	6限	4限	5限	5限	5限	4限	3～4限	3～5限	5限	5限	3～4限	3～5限	1限
授業者	小笠原	中野	松井	吉藤	石川	勝裕	奥名	宮本	安藤	辻	堀江	西澤	中口	安藤	辻	西澤	中口	長田
科目	現代文A	現在社会	数学Ⅰ	生物基礎	保健	コミュニケーション英語Ⅱ	家庭基礎	機械工作	電力技術	工業技術探究	地球環境化学	課題研究	課題研究	電力技術	工業技術探究	課題研究	課題研究	新素材
対象クラス人数	3E 39人	3K 40人	1E 22人	3K 40人	1E 40人	3KD 13人	1C 20人	2SA 40人	2E 39人	2I 10人	3C 38人	3K造形コース 10人	3Dプロダクトデザインコース 10人	2E 39人	2I 10人	3K造形コース 10人	3Dプロダクトデザインコース 10人	3T 38人
教室	3E教室	3K教室	1E教室	3K教室	多目的ホール	第2選択教室	被服室	多目的ホール	多目的ホール	プログラミング演習室	3C教室	造形室	平面デザイン実習室	多目的ホール	プログラミング演習室	造形室	平面デザイン実習室	3T教室
単元	随想・評論編 芸術「ミロのヴィーナス」	第2部 現在の社会生活と人間 第1章 現在の経済生活 5.現在の企業	第3章 2次関数 第3節 2次方程式と2次不等式	体内環境を守るしくみ	現代社会と健康	Lesson10 I Promise to Clean Up Japan Once and for All	安全で快適な住生活をつくる	知的財産権について	配給設備容量（配電システムの構成）	身のまわりの音技術	廃棄物と環境	卒業制作（金工）コース合評	アイディ発想からプレゼンテーション	配給設備容量（配電システムの構成）	身のまわりの音技術	卒業制作（金工）コース合評	アイディ発想からプレゼンテーション	高強度・高弾性繊維
手立て・工夫（場面）	前時までに学んだ第一段落を俯瞰し、意見を出し合いまとめるように指示する。	自分の考えを意思表示し、それがクラス全体にわかるようにして、その理由を伝える場を設定する	既習事項を活用し、グループ学習を行えるようにする。様々な問題に触れることで、他の範囲の問題にも活用できることを知り、深い学びができるようにする。	コンセプトマップを利用し、視覚的に学習のまとめを行う場を設定する。	既習事項や授業前半の知識を活用しながら、グループ学習を行えるようにする。グループで新しい考えを導き出せるように段階に応じた課題を設定する。	絵の描写という生徒の得意分野を活かして内容を理解させ英語での表現につなげる。ICTを活用し段階をふんわりと進めることによる創造力を高め深い学びができるようにする。	具体的な空間や設備、広さをワークシートで示すことで住空間の構成をイメージしやすくする。	発想のおもしろさ、大切さ、気づくようにプチ協議会を行う。	需要率、負荷率、不等率の活用を洗い出し、それらを組み合わせることを考える。	意見や発言、内容がズレないようにファシリテートする。進行度合いによって問題の範囲を広げる。	既習知識の掘り起こしを促し、自身の体験とリンクさせる。また、現状説明ではなくこれから起こることを予想し将来的予測を踏まえて説明できるように考えさせる。	昨年行われた制作の経験を活かしたアイデアであるか、OGの立場、作家の立場から効果的なアドバイスをする。	自分のアイディアはどのような特徴があるかを考えさせる。	発表原稿を作ってから発表を行うように指導する。	意見や発言、内容がズレないようにファシリテートする。進行度合いによって問題の範囲を広げる。	言葉だけでなく、アイデアスケッチやモデル等を使うことで分かりやすく伝えられる。	他の生徒の良かったポイントを全員発表すること。自分のアイディアを十分に伝えることができる準備をする。	工業技術探究ゼミ活動の40人版。学び合いを通して思考力やコミュニケーション力を育成する。
学習到達点	ミロのヴィーナスが、両腕の欠落によって普遍的な美を獲得しているとする筆者の考察を理解し、分かりやすく説明することができる。	株式会社で、どのような活動を行うことが、会社の利益獲得に繋がるかを考え、その理由を発表する。	不等式が解となる過程を考察し、2次不等式の知識を用いて、問題作成と解答解説を作成した。	免疫のシステムに関する学習内容を図示し、それを課題解決に活用することができる。	課題に対して、既存の発想にとらわれず、創意工夫を凝らし、新しい価値を生み出す力	坂本龍馬の話の概要を理解し、イラストを描いて説明することができる。	ライフスタイルに応じた住みやすい住空間を構成することができる。	自分が持っている知識や経験をもとに、色々なものをイメージすることができる。	需要率、負荷率、不等率を組み合わせて新しい活用を考え出すことができる。	スピーカの構造を知り、構造と出てくる音の特徴との関係を理解し、考え出すことができる。	自身の知識と経験を生かし、循環型社会の必要性を説明することができる。	作品のアイデア・コンセプトを考え出すことができる	自分の思い（アイデア）に完全に一致した表現（かたち、色、素材の組み合わせ）を考え出すことができる。	自分達のグループの考えを伝えることができる	周りの意見を理解したうえで、自分の意見も伝えられることができる	自分の言葉で分かりやすく伝えられる	他の生徒の発表を聞き、良かったポイントを見つけて伝えることができる	繊維を高強力化するための原理を理解し、説明することができる